

済生会超音波研究会に 期待するもの

済生会熊本病院 集中治療室
西上和宏

百周年記念式典・天皇陛下のお言葉より

済生会は長年にわたり、この「生命を救う道」を広めるという目的の下、たゆみない努力を続け、各地域における医療と福祉の向上に多大な貢献をなしてきました。

済生会が長年にわたって積み重ねた経験を今後にいかし、済生会の活動が人々の幸せに一層資するようになることを願い、お祝いの言葉といたします。

マラソン・君原健二選手の言葉より

人生をマラソンにたとえる人がいますが、私はむしろ駅伝に似ていると思います。駅伝は担当区間を走りきる責務が課されます。前の走者から**たすき**を受け取り、後の走者に手渡さなければならない。自分の結果が人の結果につながるので。人生の**たすき**が自分に届けられたことに感謝しつつ、巡ってきた役目を果たし抜こうと心する日々です。



私達の願いとできること

- ・超音波検査を用いた私達の臨床経験を済生会の医療者に伝えたい。
- ・超音波検査の学びの場を作りたい。
- ・済生会チームの超音波検査レベルを向上させたい。
- ・より多くの医療者(医師、技師、看護師)がより広く超音波検査を臨床に活かすよう働きかけたい。

済生会超音波研究会の理念

超音波検査を通じて、地域における医療と福祉の向上に貢献すること。

超音波検査の経験や学びを後に続く済生会職員に受け継ぎ、活かしていくこと。

本会の活動が人々の幸せに一層資するようになること。

済生会超音波研究会の予定

1. 済生会グループ内での、超音波医療の相互育成とその支援。
2. 若手医師、看護師への超音波診療の普及。
3. Web上での、e-Learningシステム、Q and A, 超音波検査を通した交流。
4. 症例のレジストリー、多施設共同研究。超音波に関する学会発表や論文作成の支援。
5. エコーレッセミナー、ハンズオン、ライブデモの案内や開催。
6. 済生会として、国際貢献。

Saiseikai Echo Association : SEA

私達の活動が大河の一滴となって海に流れ、
恵みの海になることを願っています。

